

# 巻 頭 言

久森 洋昭 (Hiroaki HISAMORI)

(建築士、大阪大学工学部環境工学教室教元講師、元竹中工務店設計部)

洞窟環境 NET 学会では、創立 10 年の記念総会迎えるため、特別講演会・パーティー・洞窟音楽会・洞窟探検会を開催する予定です。ご協力を心から感謝申し上げます。2017 年の6分野の活動は、1.テレビ・ラジオ出演(4件)、2.新聞等記事(23件)、3.展示会と表彰等(4件)、4.講演(31件)、5.論文と資料(18件)と6.フィールドワーク等(50件)等であります。2017年の学会活動数は130件で、創立時からの9年間の活動数は1224件となります。

洞窟とは、地中に入れる以上の大きさの空間であり、洞穴とも表現する。水平方向に伸びている横穴や井戸状に開口している縦穴(堅穴)などがあり、さらに、傾斜状の洞窟もある。洞口部では日光が差し込み、奥部は完全な暗黒除状態である。洞窟内部の気温は、一般に洞窟がある外部の平均気温になり、内部は外部と較べると夏は涼しく・冬は暖かい。また、一般に湿度が高い。水が湧き出る泉の奥や海面下にも水中洞窟がある。

広義には、自然にできた鍾乳洞や溶岩洞(熔岩洞)、海食洞などだけでなく、過去に人間によって掘られ、遺棄された古い穴や隧道跡などの人工洞窟もある。洞窟内に神仏を祭った例が各地にみられ(宮崎県鶴戸神宮、埼玉県橋立鍾乳洞など)、洞窟そのものをご神体とする例も多いことから神社に関する研究も行われている。洞窟の中に神社があり、神社には洞窟がある。古代人は、家がないため洞窟生活が遺跡の研究からも多く見られる。

洞窟は古くから人間に利用され、文明が発達する以前から、天然の洞窟は住居となっていた。主として洞口は休息の場、隠れ場所である。アメリカやヨーロッパの洞窟でミネラルの採取や、原始宗教目的での壁画等を作成した例が知られている。洞窟を古来住居や軍事、祭祀等に利用した例は多い。文明が発達した後も、人工的に洞窟を作って同じように利用し、格納し、保存する場、またゴミ捨て場としても使われた。洞窟内の温度、湿度は一定しているため、農産物などの保存、ワインの醸成場、キノコの栽培場、氷室等に利用されている例がある。ハンガリーやイタリアなどの温水が湧くカルスト地域では浴場として利用されている洞窟がある。また呼吸器系疾患の治療に利用されている洞窟もある。

文化的には洞窟は死後の世界や異世界への入り口と見なされた例が多い。イザナギミコがイザナミコを求めて黄泉の国へ行ったのも地下へ続く洞窟を通っている。琉球地方では、洗骨後の追葬(風葬)のために石灰岩の小さなほら穴が利用された。中国ではトラや蛇が洞穴に棲むものとされ、日本にも怪奇伝説のある洞窟は多い。また、英雄の冒険は往々にして洞窟を探検し、猛獣や魔物を退治している。

かくして私達は、洞窟を出発点として、それから派生するさまざまな分野での研究や活動を実践してまいりましたが、このことが単に知的探究に止まらず、よりよい社会を実現していくための一助となることを目指しております。この精神のもと、会員諸氏の今後の更なる研鑽に期待いたしますとともに、長年ににわたり、八面六臂の活躍をなされている沢勲会長に敬意を呈し、巻頭の言葉といたします。

## 洞窟環境NET学会 活動統計(2017年)

| 項 目                 | 2009<br>年度 | 2010<br>年度 | 2011<br>年度 | 2012<br>年度 | 2013<br>年度 | 2014<br>年度 | 2015<br>年度 | 2016<br>年度 | 2017<br>年度 | 2009～<br>2017年 |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------------|
| 1. テレビ・ラジオ出演        | 40         | 81         | 71         | 21         | 9          | 4          | 7          | 19         | 4          | 256            |
| 2. 新聞等記事            | 26         | 24         | 57         | 22         | 16         | 18         | 10         | 8          | 23         | 204            |
| 3. 展示会              | 11         | 10         | 13         | 3          | 1          | 1          | 2          | 5          | 4          | 50             |
| 4. 講演               | 26         | 11         | 17         | 31         | 18         | 7          | 13         | 25         | 31         | 179            |
| 5. 論文と資料            | 34         | 48         | 52         | 33         | 16         | 24         | 21         | 27         | 19         | 274            |
| 6. フィールドワーク         | 16         | 8          | 27         | 21         | 23         | 37         | 23         | 57         | 53         | 265            |
| <b>(2009～2017年)</b> | <b>153</b> | <b>182</b> | <b>237</b> | <b>131</b> | <b>83</b>  | <b>91</b>  | <b>76</b>  | <b>141</b> | <b>134</b> | <b>1228</b>    |

